

日本設備工業新聞

発行所
 (株)日本設備工業新聞社
 東京都渋谷区桜丘町10-13
 〒150-0031 野元第1ビル
 電話 (03) 3496-4774代
 FAX (03) 3464-1884
 info@setubikogyo.co.jp
 年額8,800円(税込送料)

あしたを、
 ちがう
 「まいにち」に。
TOTO

津波・沿岸防災推進

濱口梧陵国際賞で授賞式・講演会

国際津波・沿岸防災技術啓発事業組織委員会(会長・稲田雅裕国立海上・港湾・航空技術研究所 所長)は11月4日、東京・千代田区平河町の海運クラブで2020年「濱口梧陵国際賞」の授賞式と記念講演会を開催した。二階俊博衆議院議員・自民党幹事長や大西英男 国土交通副大臣らを迎え、梧陵生誕200年の節目の年に国内外で多大な功績のあった個人・団体を表彰した。決意も新たに津波・沿岸防災対策のさらなる推進に努めていく。

生誕200年の節目の年に決意

同組織委員会は国立土木研究所、国際臨海開発研究センター、沿岸技術研究センター、国土技術研究センター、河川情報センター、日本建設情報総合センター、水源地環境センター、全国防災協会などで構成。国土交通省、内閣府、和歌山県、日本建築学会などが後援している。

濱口梧陵は紀伊国和歌山郡広村、現在の和歌山県有田郡広川町出身で濱口家の本家にあたる千葉県大津波が広村一帯を襲った。安政元年(一八五四)に大地震が発生し、濱口国際賞は津波防災の日である十一月五日が二〇一五年の国連総会で「世界津波の日」として制定されたことを受け、同組織委員会によって二〇一六年に創設された。

梧陵生誕200年の大きな



稲田会長



二階幹事長



大西副大臣

たとき、稲むら(稲束を積み重ねたもの)に火を放って村人を誘導し、安全な場所に避難させた。その後も被災者用の小屋の建設や防波堤の築造などに取り組み、後年の津波による被害を最小限に抑えたといわれている。

濱口国際賞は津波防災の日である十一月五日が二〇一五年の国連総会で「世界津波の日」として制定されたことを受け、同組織委員会によって二〇一六年に創設された。

下水道事業の課題解決へ

市長 市町村が活発に意見交換

公益社団法人日本下水道協会(大森雅夫会長)は十一月五日、東京・千代田区のルポール麹町で第十四回「市町村の下水道事業を考える市長懇談会」を開催した。逢沢一郎衆議院議員や関係省庁の幹部らが出席し、下水道事業における地方自治体の課題解決に向けた活発な情報提供・意見交換を繰り返した。

当日は懇談会に先立ち、松原誠国土交通省水管理



ルポール麹町で開催

「私の選挙区である岡山は日本で一番日照時間が長いことで有名だが、昨年の西日本豪雨で手痛い被害が発生した。われわれは激甚化・頻発化する自然災害に「丸」となって立ち向かっていかなければならない。その際、国民の生活や経済活動を支えている下水道の果たす役割はきわめて重要だ。

このあと山形県庄内

新型コロナウイルスの感染拡大で世界は長期戦を余儀なくされているが、われわれはしっかりと足元を固めつつ世界に誇れる国を築いていく必要がある。皆さまのご意見を政策に反映し、施設の老朽化対策や浸水対策を積極的に進めていきたい」と述べ、一層の協力を要請した。



防災技術啓発事業組織委員会、授賞者、来賓などが一堂に集う

「気候変動の影響により自然災害は激甚化の一途をたどっている。安全・安心な社会へ国民の力を結集していく」とあいさつ。また和歌山県出身の二階幹事長は「津波や水災害に対する備えを常に怠ることなく梧陵先生の崇高な精神を受け継ぎ、万全の取り組みを進めていきたい」と述べ、誇らしげに同郷の偉人の功績を称えて決意を新たにされた。

表彰楯の授与のあと、授賞者による記念講演会が繰り返された。

節目となる今年には有識者選考委員会(委員長・河田恵昭京都大学名誉教授・関西大学社会安全研究所長・人と防災未来センター長)による厳正な審査で今村文彦東北大学災害科学国際研究所所長・津波工学研究分野教授、コスタス・シノラキス南カリフォルニア大

学教授、アチエ津波博物館(インドネシア)に決定した。

授賞式では稲田会長が冒頭あいさつに立ち「忌まわしい津波被害を生み出した東日本大震災からまもなく十年を迎える。国土強靱化に向けた施策が大きく進捗をしている一方で、いまだ国内外で

水災害が収まらないのが実情だ。本国際賞は災害対応力強化を目的に創設された。本日授賞された皆さまの取り組みを広く発信することで防災活動の一層の普及啓発につなげていきたい」と述べ、積極的な取り組みを呼びかけた。

続いて大西副大臣が

はさみ込むだけで吊棒が下げられる エイム・シリーズ ユニクろめつき RoHS対応

- ・有色クロメートメッキ
- ・溶融亜鉛メッキ
- ・ステンレス(SUS 304)

配管支持金具の
株式会社 アカギ
 本社 〒104-8251 東京都中央区新富 1-19-2
 ☎03-3552-7331 (大代表) ☎03-3552-1877 (代表)
 ホームページ: <http://www.akagi-nt.co.jp/>
 本社 東京・事業所 代理店 全国主要都市

形網の形状に応じてお選びください

A10256 エイム	A10257 エイム本体	A10257 エイム本体N型
傾斜対応タイプ	固定タイプ	スライド可動タイプ
A10258 エイムS型	A10259 エイムF型	
軽量固定タイプ	複合傾斜対応タイプ	